

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」ブルテン No.1

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJ ロードレース委員会

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」 規則改訂について

2026 MFJ 国内競技規則「付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則」に規則改訂をいたします。規則の施行は即時適用となります。

記

【対象規則】: 13 ゼッケンナンバー

【改訂内容】: 規則追加と規則文の順序変更（赤字・アンダーライン箇所）

改訂前

- 13-1 前年度全日本選手権の有得点者で、当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが指定される。
- 13-2-1 年間出場ライダーでランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを希望ゼッケンに変更する場合は、年間エントリー受付時に申請することができる。希望ゼッケンは最終的にMFJ中央スポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。
希望ゼッケンに関する詳細はART規約に基づく。
- 13-2-2 その他の年間出場ライダーにはARTにより年間ゼッケンナンバーが指定される。
- 13-3 スポット参戦ライダーのゼッケンは、大会ごとに主催者より指定される。
- 13-4 ゼッケンナンバーは、1~99までの2桁の数字が指定される。

改訂後

- 13-1 ゼッケンナンバーは、1~99までの2桁の数字が指定される。
- 13-2 年間指定ゼッケン
- 13-2-1 前年度全日本選手権の有得点者は、当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが指定される。
- 13-2-2 その他の年間出場ライダーにはARTにより年間ゼッケンナンバーが指定される。
- 13-3 大会ごとに指定されるゼッケン
- 13-3-1 年間指定ゼッケンナンバーを持たないスポット参戦ライダーには、大会主催者によりゼッケンナンバーが指定される。
- 13-3-2 J-GP3クラス特別参加枠参戦者は、MFJによりゼッケンナンバーが指定される。
- 13-4 希望ゼッケン
- 13-4-1 年間出場ライダーでランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを希望ゼッケンに変更する場合は、年間エントリー受付時に申請することができる。希望ゼッケンは最終的にMFJ中央スポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。希望ゼッケンナンバーに関する詳細はART規約に基づく。
- 13-4-2 希望ゼッケンナンバーは、以下の申請資格をすべて満たした者により申請することができる。
- ① 2025MFJ全日本ロードレース選手権シリーズに参戦（年間エントリー・スポットエントリー問わず）した実績があること。

② 2026MFJ全日本ロードレース選手権シリーズに年間エントリーを行っていること。

13-4-3 希望ゼッケンの使用条件

① ゼッケンナンバー「1」「2」「3」は、前年シリーズランキングにより指定された者のみ使用できる。

※2025MFJ全日本ロードレース選手権シリーズの各クラスでチャンピオンを獲得した者が2026年シリーズも同一クラスに参戦する場合、チャンピオンナンバー「1」の使用を強く推奨する。

② 指定ゼッケンを割り当てられたライダーが希望ゼッケンを使用することにより未使用となった年間指定ゼッケンナンバーは、希望ゼッケンとして選択することができる。

③ 希望ゼッケン番号は、翌年も希望ゼッケンを申請する場合、同じ番号を選択することを原則とする。

④ 希望ゼッケンは基本的に2桁番号とするが、スポンサー要素が高い場合は3桁も使用できる。

⑤ J-GP3特別参加枠のライダーは、希望ゼッケンを申請・使用することはできない。

13-4-4 希望ゼッケンの優先順位

① 年間指定ゼッケンと希望ゼッケンが重複した場合

年間指定ゼッケンの利用者が優先される。これは希望ゼッケンを複数年利用している場合も同様とする。但し、年間指定ゼッケン獲得者の承諾がある場合は、希望者が使用することができる。

② 希望ゼッケン同士が重複した場合

前年シリーズランキングの上位者が優先される。但し、双方協議し上位者の承諾がある場合、希望者が使用することができる。

③ クラス変更時の優先順位

JSB1000 > ST1000 > ST600 > J-GP3 (優先順位はより左側のクラスが高い。)

例) 2025年シリーズでST1000クラスとST600クラスに参戦した者が、2026年シリーズで共にJSB1000クラスにステップアップし、希望ゼッケンが重複した場合、ST1000クラスに参戦していた者が優先される。

13-4-5 希望ゼッケンの例外規定

① 希望ゼッケンナンバーの申請資格は、基本的に13-4-2希望ゼッケン申請資格条件を満たす者とするが、前年の全日本選手権シリーズに参戦実績がない本年のART会員と本年の全日本ロードレース選手権スポットエントリー者であっても、チームが伝統的に使用しているゼッケンのプロモーション要素が考慮に値する場合、例外として希望ゼッケンの申請をMFJは認める場合がある。

② 希望ゼッケンは翌年も同じ番号を選択することが原則だが、希望ゼッケン変更の必要性が明らかな場合(チーム・スポンサー変更等)は、MFJが希望ゼッケンの変更を認める場合がある。

以上